

情報連絡員だより

－平成 28 年 12 月分の報告より－

年末需要は乏しく、苦戦が続く

業 種 / 景 況 天 気 図		概 況	
全 体		一部地域・業種で回復の兆しが見られるも、年末需要は盛り上がりには欠け、前年並みに推移。また、各業種で人手不足が改善されぬ中、円安基調による原材料高や原油高等を憂慮する等、今後の見通しも厳しい状況。	
製 造 業	食 料 品		パンは低価格志向に加え消費が低迷し、景気回復の実感が得られない状況。製麺はカップ麺やコンビニのチルド麺好調の影響で、年末の動きが若干鈍化。酒造は純米吟醸酒・吟醸酒の売上好調が続く。
	織 維 ・ 同 製 品		桐生織物は梅春物が依然低調も、今後の輸出向け商品に期待。伊勢崎織物はほぼ横ばいで先行き不透明な状況。繊維製品は百貨店等で乱売状態が続く中、取引先からの加工賃の引き下げ要求に対応し厳しい状況。
	窯 業 ・ 土 石 製 品		生コンは地域間格差がある中、県央地域が全体を押し上げ前年並みに推移。コンクリートブロックは需要が持ち直しつつあるも、各企業は人手不足に苦慮。砕石は景況感が一部地域で回復傾向も全体では低迷が続く。
	機 械 ・ 金 属		円安基調となり好転を期待する一方、原材料等の値上がりを危惧。富士重工関連は依然好調を維持し、国内・北米の関連企業は設備投資が拡大。鍍金は輸出に陰りが見え、生産量確保に苦慮する企業が散見。
	そ の 他 の 製 造 業		木材は原料・人手不足により操業度が低下。紙加工品は依然古紙価格の上昇や原油高等を懸念する中で、景況感はやや持ち直している。ゴムは年末にかけて操業度が上昇する企業が見られる。
非 製 造 業	卸 売 業		高崎の食品卸は祝日とクリスマスが重なり、日の並びに恵まれるも荷動きは低調。太田卸は人材確保に苦慮する企業が散見される。農産物卸は年末で野菜が高値となるも比較的安定した相場で推移。
	小 売 業		生花小売は値頃感を求める消費者が増加。中古車オークションは出品台数を維持するも、成約率の伸び悩みで手数料収入が減少。商店街は暮れらしさが薄れ、各地の年末商戦は低調で売上が伸び悩み、廃業も散見。
	サ ー ビ ス 業		温泉旅館は忘年会の需要が減り、規模も年々縮小傾向。不動産取引は太田市域において、駅周辺の再開発事業や工業団地造成等で住宅用・事業用ともに需要が増加。建築設計は受注体制の強化と一層の技術向上に尽力。
	建 設 業		建設工事は労働者の高齢化で更なる人手不足を懸念。解体工事は年末の駆け込み需要や、空き家解体助成制度の充実で工事件数がやや増加。塗装工事は仕事量の落ち込みや、人材不足等労務問題への今後の対応を不安視。
	運 輸 業		一部で車両不足の場面が見られるも、全体として荷動きは低調で、年末の繁忙感は乏しい状況。業界全体の課題である運転手不足に不安を募らせている。小型運送は年末における臨時の遠方輸送依頼で売上が増加。